【パブリックコメント資料】

第３次白山市総合計画
重点プロジェクト・基本計画
【案】

―第３次白山市総合計画の構成―

第１部　序論

（計画策定の趣旨、計画の期間と構成）

第２部　基本構想…令和８年４月にパブリックコメント実施後、６月 26 日に議決

（将来都市像、基本理念、主要指標の見通し、まちづくりの目標、将来都市構造）

第３部　重点プロジェクト

第４部　基本計画

― 今回のパブリックコメント資料

第３部　重点プロジェクト

重点プロジェクト

～「白山手取川ジオパーク」を基軸とした白山市らしさの形成～

白山市は、霊峰白山の山頂（標高 2,702m）から手取川を経て日本海沿岸（海抜０m）まで、わずか 70㎞ 程度の間に山・川・平野・海が凝縮された、全国的にも稀有な自治体です。各地域はそれぞれに異なる自然・歴史・文化を育んできましたが、この「違い」こそが、今の白山市の最大の魅力であり、可能性です。

令和５年５月、白山市全域を区域とする「白山手取川ジオパーク」がユネスコ世界ジオパークに認定されました。ジオパークとは、単に大地の成り立ちや貴重な風景を守る場所を指すのではなく、その上に広がる自然・歴史・文化・人々の営み・産業・防災までをすべて「教育」や「地域の活性化」に生かす、総合的な取組です。

すなわち、白山市にとってのジオパークは、各地域が有する個性豊かな資源を「つなぎ合わせ」、白山市全体を一つの大きな価値として再構築するための統合的な視点といえます。この大地と地域のつながりを表すのが、白山手取川ジオパークのテーマ「水の旅・石の旅」[※1]です。

第３次白山市総合計画では、将来都市像である「しあわせの実感広がる白山市 ～次代へ向かって、みんなでつなぐ～」を実現させるため、ジオパークの視点を基軸とし、各地域の個性を「白山市の現在と未来を支える資産」と捉え、更なる白山市らしさの形成を目指します。

その白山市らしさの根底にあるのが、「水の旅・石の旅」が刻んだ大地の恵みです。この大地の恵みは、産業や仕事を生み、人を根づかせ、交流を広げるとともに、豊かな水や多様な自然、歴史、文化など、さまざまな形で私たちの暮らしに恩恵をもたらしています。そして、この地ならではの恵みを日々の暮らしの中で享受できることが、白山市に暮らす大きな価値となっています。

こうした恵みに育まれた白山市の豊かさをさらに高め、次の世代へとつなげていくことで、この地で暮らすことへの誇りや愛着を育み、白山市に関わる一人ひとりが日々の暮らしの中で「しあわせ」を実感できるまちを目指します。

その実感が白山市全体に広がるよう、「産業振興」「若者・担い手応援」「交流拡大」「シビックプライド醸成」の４つの視点から分野横断的に施策を束ねて重点プロジェクトとして位置づけ、多様な主体との連携を図りながら取組を推進していきます。

【ジオパークを基軸とした重点プロジェクトの考え方】



※１：

白山手取川ジオパークの「水の旅・石の旅」とは

「水の旅」は、白山に降り積もった雪が解け、地表を流れる水や地下を流れる伏流水となって手取川を潤し、やがて日本海へと注ぎ、蒸発して再び雪や雨となって白山に戻る水循環のことを指します。この水循環は、白山の豊かな自然環境を育むとともに、その水の恵みは農業をはじめとする産業や人々の暮らしに幅広く利用されています。

「石の旅」は、白山を源とする手取川の流れが、大地を削り、土砂や石を下流へと運び、堆積させることで地形が形成される過程を指します。手取川は世界でも有数の急流河川であり、標高差 2,702m をわずか 70km 程度で下るこの流れが、国内最大級の美しい手取川扇状地を生み出しました。こうして長い年月をかけて形成された大地は、農地や集落、産業活動の場として、人々の暮らしを支える基盤となっています。

これらの「水の旅」と「石の旅」は、白山手取川ジオパークの大きなテーマであり、太古の昔から続く自然の壮大な営みと、人々の生活が紡ぎだすストーリーです。白山の山頂から日本海までを一つの市域に有し、こうした自然と人々の暮らしのつながりを身近に感じることができるのは、白山市ならではの大きな魅力です。

（１）産業振興プロジェクト

基本方針

「水の旅・石の旅」が、悠久の時をかけて刻み込んだ大地の恵みは、農林水産業・工業・食文化など、白山市の産業すべての礎です。ユネスコ世界ジオパークが示す「地質遺産の保護と持続可能な活用」の理念のもと、山・川・平野・海が一体となった産業連携を深め、農林水産物のブランド化や認知度の向上、販路の拡大を図り、地域産業の「稼ぐ力」を高めます。

また、優れた交通条件や手取川が育んだ扇状地の強固な地盤を生かし、企業誘致・産業集積を推進します。さらに、手取川の治水・砂防などの歴史に学びながら自然災害への備えを強化し、大地と共に生きる持続可能な経済基盤を次世代へつなぎます。

主な施策

❶農林水産業の生産性向上と持続可能な基盤づくり

- 水田フル活用による農業所得の増大［5-1-1(1)⑥］
- 環境に配慮した持続可能な農業の推進（オーガニックビレッジの推進）［5-1-1(1)⑨］
- （鳥獣）被害防止に向けた体制強化［5-2-1(1)②］

❷地域資源のブランド化と「稼ぐ力」の創出

- 農林水産物ブランド認証の推進［5-1-2(1)③］
- 地元農林水産物を活用した商品開発の支援［5-1-2(2)①］
- 食文化のブランド力の向上［6-1-2(4)③］
- ふるさと納税制度の推進［7-2-2(2)④］

❸立地と地域資源を生かした産業基盤の強化

- 市内主要幹線道路の整備促進［2-2-2(2)①］
- 再生可能エネルギーの利用の促進［4-3-4(2)①］
- 工業団地の整備［5-3-2(1)①］
- 企業誘致の促進［5-3-2(1)②］
- 工業用水の活用［5-3-2(3)①］

❹自然災害への備え

- 河川・海岸・砂防事業等の整備促進［2-1-2(1)①］
- 雨水排水対策の推進［2-1-2(1)②］
- 災害時受援体制の強化［2-3-1(1)④］
- 自主防災組織体制の強化［2-3-2(1)①］

目標指標

成果指標	単位	現況値	目標値		備考
		R7	R13	R18	
農業産出額	千万円/年	752 (R6)	760	768	農林水産省の市町村別農業産出額（推計）
全産業の売上（収入）金額	億円/年	14,254 (R6)	15,073 (R11)	15,693 (R16)	経済センサス-基礎調査
土砂崩れ・洪水対策などの防災対策の満足度	%	65.3	67.0	70.0	白山市総合計画策定に係る市民アンケート調査で、「満足」「やや満足」と回答した割合

（２）若者・担い手応援プロジェクト

基本方針

「水の旅・石の旅」が刻んだ山・川・平野・海には、それぞれ異なる産業・文化・暮らしが息づいています。こうした大地に育まれた地域の個性を大切にし、地域や、そこに暮らす人々の営みをつないでいく力こそが、白山手取川ジオパークの本質といえます。

こうしたジオパークの考え方を生かし、それぞれが自分らしい仕事や暮らしを選び、この地に安心して暮らし続けられるまちづくりを進めます。そのため、市内企業への支援や創業の促進により雇用の場の確保・創出を図るとともに、中山間地域をはじめ各地域の実情に応じた担い手支援を行います。また、妊娠・出産から子育て期まで切れ目のない支援を充実させ、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるとともに、市民一人ひとりの健康づくりを支援し、誰もが健やかに、いきいきと暮らせるように取り組みます。あわせて、農林水産業をはじめとする多様な働き方や生き方を支え、この大地の恵みと営みを次の世代へつないでいきます。

主な施策

❶若者が働ける場の創出・確保

- 産学官民と若者の連携［4-1-2(2)②］
- ワーク・ライフ・バランスの推進［4-1-3(2)②］
- 創業への支援［5-3-2(2)①］
- UIJ ターン・定住・就職支援［5-3-4(2)③］

❷地域の多様性を継承する担い手応援

- 高齢者の社会参加の促進［1-3-1(1)①］
- 障害のある人の社会参加の促進［1-4-1(2)②］
- 協働の体制づくりの構築［4-1-2(1)②］
- 地域づくりを支える人の受け入れ支援［4-2-1(1)⑦］
- 中山間地域農業の活性化支援［5-1-1(1)⑧］
- 経営・技術伝承支援［5-3-1(1)②］
- 空き店舗、空き家等の活用［5-3-1(2)②］

❸若者が住み続けたくなる、健やかな暮らしと次世代を育む環境づくり

- 子どもに関する相談支援の充実［1-2-1(1)④］
- 認定こども園・小規模保育園・事業所内保育園の整備促進［1-2-2(1)①］
- 保護者の経済的負担軽減の推進［1-2-2(2)⑦］
- 生活習慣病の発症および重症化予防［1-5-1(1)②］
- 健康への意識づくり［1-5-1(1)③］
- 地域医療連携ネットワークの強化と充実［1-5-2(1)④］
- 中高生の居場所づくり［3-3-1(2)③］
- 新たな住宅取得への支援［4-2-1(1)①］

目標指標

成果指標	単位	現況値	目標値		備考
		R7	R13	R18	
市内従業者数	人	55,555 (R6)	55,400 (R11)	55,000 (R16)	経済センサス-基礎調査
人口の社会増減数	人	＋223 (R3～R7 平均)	＋1,000 (R9～R13 累計)	＋1,900 (R9～R18 累計)	目標人口との整合を図って目標値を設定
合計特殊出生率	人	1.33 (R6)	1.50	1.66	目標人口との整合を図って目標値を設定

（３）交流拡大プロジェクト

基本方針

白山手取川ジオパークには、「水の旅・石の旅」が刻んだ山岳・峡谷・扇状地・海岸や高山植物からブナ林、田園風景まで標高とともに劇的に移り変わる景観が、わずかな距離に凝縮されています。各地域で積み重ねてきた歴史・文化・食・鉄道の記憶もこの大地と深く結びついており、そのつながりこそが白山市ならではの交流資源であり、全国的にも稀有な地球の縮図といえます。このユネスコ世界ジオパーク認定のブランド力を生かし、地質遺産と自然・文化・暮らしのつながりを体感できる観光コンテンツの充実と受入環境の整備により、国内外からの交流人口の拡大を図ります。動画・SNS を活用した戦略的・継続的な魅力発信や広域観光との連携を進め、関係人口の創出を通じて、何度でも訪れたいと思える開かれた交流のまちを目指します。

主な施策

❶観光客の受け入れ拡大と交通網・インフラの確保

- ネットワークインフラの整備・高度化［2-1-2(4)①］
- IR いしかわ鉄道および石川線の利用促進［2-2-1(2)②］
- 観光ガイドの育成・活用［6-1-1(2)①］
- 観光拠点への交通の確保［6-1-1(3)⑥］
- 多様なツアーメニューの提案（教育旅行等）［6-1-2(2)③］
- 白山手取川ユネスコ世界ジオパーク拠点の整備と活用［6-2-2(1)②］

❷広域観光・インバウンドとまちなかの賑わい推進

- 賑わい創出の推進［5-3-1(3)②］
- オール加賀会議と連携した広域観光事業の実施［6-1-3(1)②］
- インバウンド事業の推進［6-1-3(3)①］

❸魅力の戦略的発信と関係人口の創出

- 移住希望者へ向けた PR 等の推進［4-2-1(1)⑤］
- 白山の魅力の発信［6-1-2(1)①］
- 鉄道のまちの発信［6-1-2(1)②］
- 特産品の市内外への情報発信［6-1-2(2)④］
- シティプロモーション活動の充実［7-1-2(2)①］

目標指標

成果指標	単位	現況値	目標値		備考
		R7	R13	R18	
観光入込客数	万人/年	435	470	500	「白山市の観光」における当該年（１～12 月）の数値
宿泊客数	人/年	145,254	156,958	167,430	「白山市の観光」における当該年（１～12 月）の数値
旅行消費額	円	※秋ごろ公表のため未記入	※現況値がわかり次第記入	※現況値がわかり次第記入	石川県観光データ

（４）シビックプライド醸成プロジェクト

基本方針

白山の大地を刻んだ「水の旅・石の旅」の物語は、山・川・平野・海のそれぞれの地域に生きる人々の暮らしや文化と深くつながり、私たちはその恵みを日々の暮らしの中で享受しています。白山手取川ジオパークを通じて、市民一人ひとりがこの大地の成り立ちを「知り・感じ・誇りに思う」機会を増やすことで、白山市への深い愛着と帰属意識を育みます。また、大地の成り立ちをはじめとする地域の豊かな資源について学ぶ機会を充実させ、地域独自の食文化への理解や親しみを深めるとともに、地域活動への参加を促し、日々の暮らしの中で地域とのつながりを強めていきます。外国人住民を含め、国籍や世代を超えたすべての市民が、白山市に愛着と誇りを持ち、住み続けたい・応援したいと思えるまちづくりを進めます。

主な施策

❶市民のジオパーク再発見

- ジオ育の推進［3-1-1(1)①］
- 市民講座やイベントの開催［4-3-1(3)①］
- 白山手取川ユネスコ世界ジオパークの活動の推進［6-2-2(1)①］

❷白山市への理解促進

- （共生のまちづくりの）広報・啓発活動の推進［1-4-1(3)①］
- 読育（よみいく）の推進［3-1-1(1)③］
- 生活安全教育・防災教育・交通安全教育の推進［3-2-1(6)①］
- 市民ニーズに即した学習機会の提供［3-3-1(1)①］
- ふるさと文化の普及・継承［6-2-1(2)①］
- 多文化共生への理解促進［6-4-1(3)③］

❸地産地消による愛着の醸成

- 食育の推進［3-1-1(1)②］
- 地元産食材の周知活動の推進［5-1-2(1)①］
- 学校給食への地元産食材の使用促進［5-1-2(1)④］

❹地域活動への参画促進

- 地区計画制度・景観まちづくり制度の適用推進［2-1-1(2)①］
- 町内会活動に対する支援［4-1-1(1)①］
- 外国人住民の地域参画の推進［6-4-1(3)②］
- 市政参画機会の充実［7-1-2(1)①］

目標指標

成果指標	単位	現況値	目標値		備考
		R7	R13	R18	
白山手取川ジオパークの認知度	%	33.2 (R6)	50.0	66.0	白山市総合戦略策定に係る市民アンケート調査で、「世界ジオパークに認定されたことや、何を指しているか、概ね知っている」と回答した割合
白山市に愛着を感じる市民の割合	%	66.5 (R6)	75.0	80.0	白山市総合戦略策定に係る市民アンケート調査で、「愛着を感じる」「まあまあ愛着を感じる」と回答した割合
まちづくりや地域活動への参加意向	%	35.8	43.0	50.0	白山市総合計画策定に係る市民アンケート調査で、「自ら積極的に参加したい」「可能な範囲で参加したい」と回答した割合